

自衛隊の衣食住に興味 ～スポーツ専門学校で自衛隊制度説明会～

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、6月27日（木）、横浜YMCAスポーツ専門学校（横浜市）において自衛隊制度説明会を実施した。当校はスポーツインストラクターやトレーナーを育てる学校で、「自衛隊でも資格を活かせるのでは」と、学校の入学相談室より依頼を受け実施したものである。当日は担当教諭を含め興味を示している2学年の24名が学校教場に集まった。

当初、「地方協力本部のことをよく知らない」という声を受け、まず所在地や任務等を紹介した後「自衛官の仕事」や「自衛官への道」へと話を進めていった。

はじめはあまり興味を示さなかった学生も説明が進むにつれてメモを取る学生も見られ、「自衛官の一日」の説明では、「食事は無料ですか」「服は支給されますか」など、特に宮内生活面に興味を持っていることが窺えた。また陸上自衛隊朝霞駐屯地の体育学校の説明では、近年のオリンピックでのメダル獲得状況など、自衛官の活躍を紹介すると、東京オリンピック開催前年ということもあるのか、真剣な眼差しで聞いている姿が印象的だった。その他、女性の勤務状況などの質問が出るなど、終始真剣に聞き入っていた。

上大岡募集案内所は「今後もこのような専門学校等の説明会も増やし、あらゆる場所での自衛隊PRに努力していきたい」としている。



所長の説明に真剣に聞き入る学生達

海自「中級管理講習」で予備自衛官等志願を呼びかけ

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本 貢祐）は、6月28日（金）、海上自衛隊第2術科学校（田浦）で実施された「令和元年度第2回中級管理講習」において、海自隊員72名に対する予備自衛官等の制度説明を行い、予備自衛官等への積極的な志願及び部下隊員等への制度周知を呼びかけた。

本講習は、主に神奈川県に勤務している3佐以下の幹部及び准・曹で、かつ定年3年前までの退職予定自衛官を対象とし、社会への適応性啓発や退職後の生活の安定を図るために必要な知識を付与することを目的として実施されており、神奈川地本は累次、本講習において予備自衛官等の制度説明を実施している。

当日は、予備自衛官等の処遇や訓練内容等について紹介した。特に、即応予備自衛官については、陸上予備自衛官を経ることにより海上自衛官でも志願が出来ることなど、実際に活躍している元海上自衛官の即応予備自衛官を例示して説明した。

また、昨年10月から士長以下の予備自衛官及び即応予備自衛官の採用年齢が拡大され、予備自衛官は54歳まで、即応予備自衛官は49歳まで志願が可能となったことに伴って予備自衛官等の勢力拡大や雇用企業の理解を得るための制度改正が進められていることについて紹介した。

神奈川地本は、「今後もあらゆる機会を通じて、予備自衛官・即応予備自衛官の魅力を発信していきたい。採用年齢も拡大されたことから、これまで年齢制限で予備自衛官・即応予備自衛官への志願をあきらめていた方は、この制度改正を機会に積極的な志願をお願いしたい。志願を検討している方や制度について更に詳しく知りたい方は、気軽に神奈川地方協力本部予備自衛官課に相談してほしい。」としている。



予備自衛官等制度について聴講する海自隊員